

公明党 池上 茂樹 議員

市営住宅について

(質問) 市営住宅の現状と課題、通年募集について尋ねる。

また、南旭が丘団地を民間に売却し、住民に早期の退去を強いていると誤解を招いたことに対して、担当者が直接訪問し、心配と不安を与えたことを謝罪するよう求める。

(答弁) 平成30年5月現在の入居状況は、1,581

戸に対し、約92.6%の1,464戸に入居している。騒音やペット飼育など一部の入居者によるトラブルが発生し、入居者から、具体的な相談をいただいている。通年募集については、今後、入居率が低下し、回復が困難であると判断した場合は、応募者確保を目的として行う。

南旭が丘団地を民間に売却した事実はなく、入居中の皆さまに誤解を与えたことに対し、心より深くおわび申し上げる。

その他の質問 ○地域づくりについて

公明党 船間 涼子 議員

子どもの交通安全・防犯対策の強化について

(質問) 鈴鹿の宝である子どもたちの交通事故を未然に防ぐため、通学路の危険箇所の改善は重要であり、喫緊の課題解決を求める。また、登下校の子どもたちの安全を守り、犯罪を撲滅できる市内全域の環境整備の強化を求める。

(答弁) 市内における児童生徒の交通事故の件数は、平成29年度で106件、前年度比7件の

増加。通学路の総合的な安全対策を推進するため、「鈴鹿市通学路交通安全プログラム」に基づき、合同点検を実施している。

不審者情報件数は99件で、前年度比8件の増加。全ての小学校には多くの保護者や地域の方が安心安全パトロール隊、青色回転灯パトロール車による校区の巡回、「パトロール中」のたすきをかけての見守り、ステッカーなどを貼った自転車での巡回に参加しており、「子どもをまもる家」は約2,500軒の皆さまに、安全確保の取り組みにご協力いただいている。

自由民主党 矢野 仁志 議員

大木中学校の改築について

(質問) 大木中学校の建て替えの際は、シンプルで長持ちする校舎とするための「コストダウンの工夫」を考えていく必要があると思うが、本市の考えを問う。

(答弁) 4棟に分散している大木中学校の校舎を中高層階構造1棟に集約し、建築面積を減らすことにより、基礎工事に係るコストを

削減する。また、シンプルなデザインとすることで単位面積当たりの単価を抑えることができ、修繕などのランニングコストの抑制効果も期待できる。

また、大木中学校は海岸線に近く、潮風による塩害が懸念されるが、対塩害性能に優れた校舎の長寿命化対策とともに、コストダウンを図っていきたい。

大規模な投資となる校舎の改築事業については、トータルコストを重視して進めていく。

その他の質問 ○児童相談所について

市民クラブ 大西 克美 議員

不登校生への学力支援について

(質問) 不登校生徒の現況を尋ねる。また、文部科学省では、欠席理由により「病気」、「経済的理由」、「不登校」、「その他」に分類しているが、「その他」には不登校傾向の児童生徒は入っていないのか。

(答弁) 小中学校の不登校児童生徒の人数と割合は、平成29年度は271人で、1.59%であった。

小中学校を合わせた、欠席日数が30日以上あった長期欠席児童生徒数は521人で、「その他」は167人いる。そのうち、「欠席理由が2つ以上あり、主たる理由を特定できない」といった不登校傾向とも考えられる児童生徒が109人となっている。



不登校対策プロジェクト会議

その他の質問 ○南海トラフ地震の減災について